

島の未来につながる 議会改革を！



▲小会議室でのオンライン会議システムのテスト例。
手元の端末と同じ映像が、部屋の奥のスマートAIボードに
投影されています。スマートAIボードに搭載されているカ
メラ・マイクも活用してオンライン会議ができるようになりました。

新議長として「議長の目ラ
ンド」を引き継ぎまして、初
めての投稿をさせていただき
ます。今回は議長として目指
す『島の未来につながる議会
改革』を達成するための取り
組みを、二つの目的に沿って
お伝えしたいと思います。

一つ目の目的は、『未来の
議員・議会のため』です。す
なわち、議員になりやすい・
なつてからも仕事しやすい環
境を整備します。もちろん議
員だけでなく行政とも、より
深く、無駄の少ない審議がで
きるように、情報共有の環境
整備が必要です。

二つめの目的が、『島の課
題に対応し、未来につなげる
ため』です。コロナ禍でのオ
ンライン授業や、移住定住に
も期待されるリモートワーク
の可能性。これらを議会業務に
も活用しつつ、時代の流れに対
応できる議会を目指します。

デジタル対応にしまして
は前期からの成果もあります
が、今期は行政側を交えてル
ール・環境づくりに取り組む
ます。

議長 木村 諭史

つながる取り組み例

見通しのいい議会

年間の議会日程、定例会中の時程を常に共有しながら行
っています。連絡船を利用する式根島の議員や、将来的
には子育て中の議員にとっても、予定を調整しやすい環
境整備を意識しています。

(オンラインで日程調整・情報共有)

定期的な会合

定例会の開催月でなくても月1回の目安で会合日程を確
保しておき、臨時議会や委員会はもちろん、現状共有や
勉強会などを行えるようにしています。

(資料はタブレット端末ですぐ共有！)

議会前に情報共有

議場での予算審議などの数日前に、有志議員らによる事
前説明会を開催しました。情報把握を事前に終えて
おき、議場では審議を深める質問ができるようにしま
した。(オンラインでさらに柔軟な開催を！)

資料のデジタル化

何百ページに及ぶ予算書・決算書での大量の紙を削減す
るだけでなく、議会だよりの赤ペン編集を全員が遠隔で
行う体制づくりを強化していきます。(前期でも総務・
広報の委員会では活用済み)

画面での情報共有

議場でのスマートAIボードやデジタル端末で同じ画面を
見られるようにすることで、わかりやすくなり、充実
した審議を行えるようにします。

(前期でも質問タイマーを議員の端末画面で共有)

オンライン会合を！

本土通院や悪天候で議場に参集できない議員が委員会等
に参加できるよう、オンライン会議の導入を進めていま
す。※本会議のオンラインによる審議参加は法律上不可能となっています。

(前期でも『議員と一緒に考える会』では、式根島ほか
他島や本土からのオンライン参加実績あり)